

第5回 大阪 水・環境ソリューション機構 運営会議
議事要旨

日時：平成 26 年 4 月 14 日（月）15 時 30 分から 17 時 00 分

場所：大阪市役所 屋上階会議室

出席者：田中委員長(大阪市副市長)、田辺委員(公益社団法人関西経済連合会 常務理事・事務局長)、西田委員(大阪商工会議所 常務理事・事務局長)、福井委員(大阪市建設局長)、玉井委員(大阪市水道局長)、山本委員(大阪市環境局長)、三枝代理委員(大阪府商工労働部 成長産業振興室長)、井上委員(大阪市経済戦略局長)、西代理オブザーバー(大阪府都市整備部 下水道室 計画グループ長)

事務局：佐崎幹事会幹事長(大阪市建設局 水環境担当部長)、永持事務局長 ((一財)都市技術センター常務理事兼部長)、(一財)都市技術センター 大屋企画推進部長、大谷事務局次長 ((一財)都市技術センター 事業企画課長)

議事要旨：

① 現状報告

- ・事務局および各構成団体より活動報告(これまでの経過・平成 26 年度予定など)が行われた。

② 議案の審議（第5回 大阪 水・環境ソリューション機構運営会議 議案書）

- ・第1号議案において、会計に福井大阪市建設局長、監事に玉井大阪市水道局長及び山本大阪市環境局長、幹事長に佐崎大阪市建設局水環境担当部長が指名された。
- ・第2号議案から第5号議案において、平成 26 年度の事業計画案、収支予算案、機構事務局運営費用協定書案、機構事務局運営業務協定書案が全会一致で承認された。

③ 意見等

- ・機構設立当初と比較して、途上国自身の自国の企業や技術者を育成したいという思惑が強く出てきて、より複雑な状況になってきていると思われる。
- ・海外案件の受注に向けては、インフラ事業案件などでチーム JAPAN として取り組んでいくものと、現地工場などの課題に対して最適な企業連合チームを組んで取り組んでいくものに整理していくことが考えられる。
- ・相手側の様々なニーズに対して、構成団体の横のつながりで紹介するなど柔軟に対応していけるというのが、機構の一番の強みである。
- ・海外展開の取組みは地道にやっていかなければならない部分もあり、機構には案件の入口発掘などの役割を引き続き期待したい。

（以上）